

市内全市立小学校の通学路の点検結果を取りまとめました

千葉市では、八街市において発生した小学生の交通死亡事故を受け、全市立小学校の通学路について、関係機関等と連携し改めて点検を行い、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 危険性があるとされた箇所数

549カ所

※549カ所のうち、「千葉市通学路のカラー化計画」の前倒しによる追加は416カ所

2 危険性があるとされた主な理由

- ・ 抜け道になっていて交通量が多い
- ・ カーブ等により見通しが悪い
- ・ 路肩が狭い
- ・ 車の速度が上がりやすい
- ・ 大型車の通行が多い

3 今後の対応

危険性がある箇所については、学校・教育委員会、道路管理者、警察等の関係機関が10月末までに対策案を検討・作成します。

この対策案では、児童への交通安全教育、通学路の見直し、セーフティウォッチャー等の配置換え、防護柵、車止め、標識の設置、横断歩道の新設や引き直し等を検討しており、即効性のあるものから速やかに実施していきます。

<参考>千葉市通学路のカラー化計画

小学校に通学する児童の安全確保のため、路肩を緑色に着色する安全対策を行うことで児童の歩く場所（目安）を明示するとともに、運転者に対し通学路であることの認識を持ってもらうことに効果がある路肩のカラー化を実施していくための計画。

完了時期を2年前倒しして、令和4年度までに残る44kmの整備（全体で約120km）を完了させることとした。



通学路のカラー化（イメージ）